

令和7年度 第7回
希望郷いわてモニターアンケート
ボランティアに関する意識調査結果

令和7年11月
岩手県保健福祉部地域福祉課

ボランティアに関するアンケートの結果について

I アンケートの趣旨

県では、令和6年3月に策定した「第4期岩手県地域福祉支援計画」において、「互いに認め合い、共に支え合いながら、誰もが安心して暮らし、幸福を実感できる地域共生社会の実現」を基本理念に掲げ、同計画に基づき、地域住民による自主的な活動、ボランティアや福祉活動を行うNPO等の取組など、様々な担い手が主体となって地域の福祉課題に参画できるよう、取組の支援等を行うこととしています。

ボランティアやNPOが継続性を持ちながら活動していくためには、主体的に福祉活動を担う人材の養成が必要です。

本調査は、ボランティアに関する県民の皆様の意識を把握し、今後のボランティア活動推進のための課題を探り、ボランティア人材の養成に向けた方策を検討するための参考とするために実施しました。

II 調査実施期間

令和7年10月3日(金) ～ 同年10月17日(金)

III 調査方法

調査紙郵送及びインターネット

IV 調査対象

令和6、7年度希望郷いわてモニター 200名

V 回答者数

151名

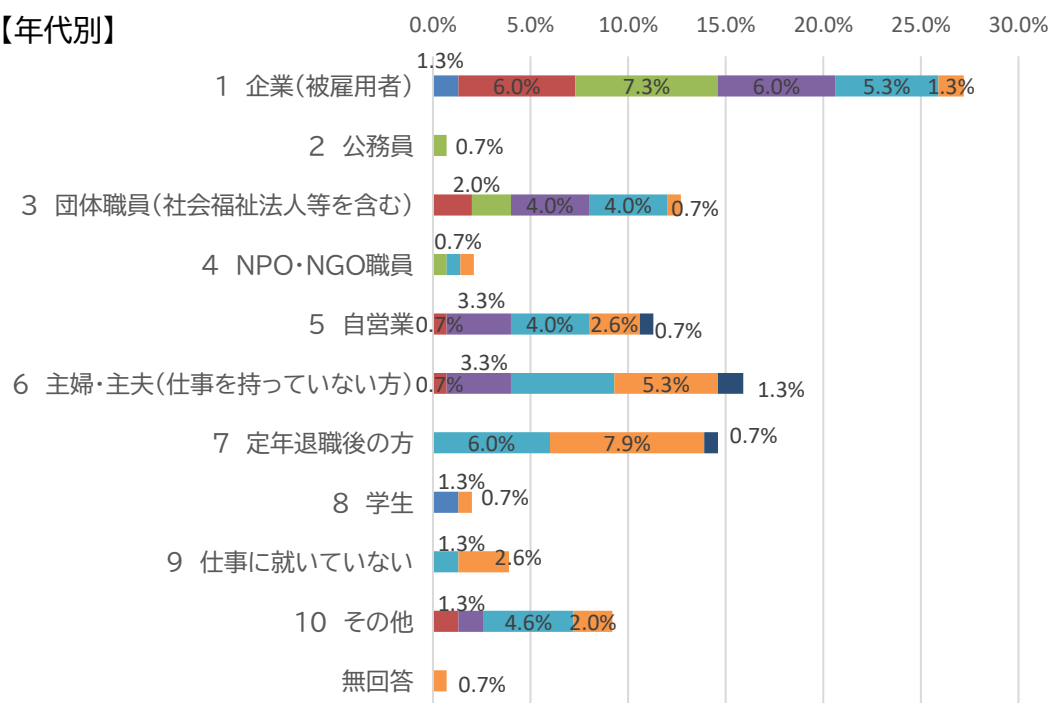
VI 回答率

75.5%

問1 回答者の属性

	件数	比率
1 企業(被雇用者)	41	27.2%
2 公務員	1	0.7%
3 団体職員(社会福祉法人等を含む)	19	12.6%
4 NPO・NGO職員	3	2.0%
5 自営業	17	11.3%
6 主婦・主夫(仕事を持っていない方)	24	15.9%
7 定年退職後の方	22	14.6%
8 学生	3	2.0%
9 仕事に就いていない	6	4.0%
10 その他	14	9.3%
無回答	1	0.7%
合計	151	

【年代別】

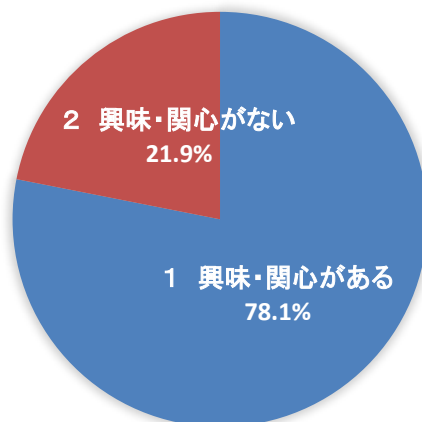


■1 18～29歳 ■2 30～39歳 ■3 40～49歳 ■4 50～59歳 ■5 60～69歳 ■6 70歳以上 ■無回答

問2

ボランティア活動に興味・関心がありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

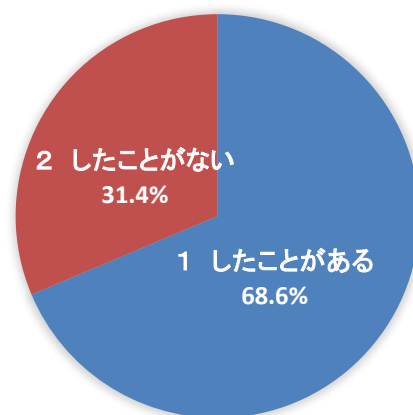
	件数	比率
1 興味・関心がある	118	78.1%
2 興味・関心がない	33	21.9%
合計	118	



問3

問2で1を選択された方にお聞きします。
過去5年間でボランティア活動をしたことがありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。

	件数	比率
1 したことがある	81	68.6%
2 したことがない	37	31.4%
合計	151	



【調査結果】

ボランティア活動に興味・関心がある方の割合は、78.1%となり、そのうち68.6%が過去5年間で活動をしたことがあると回答した。

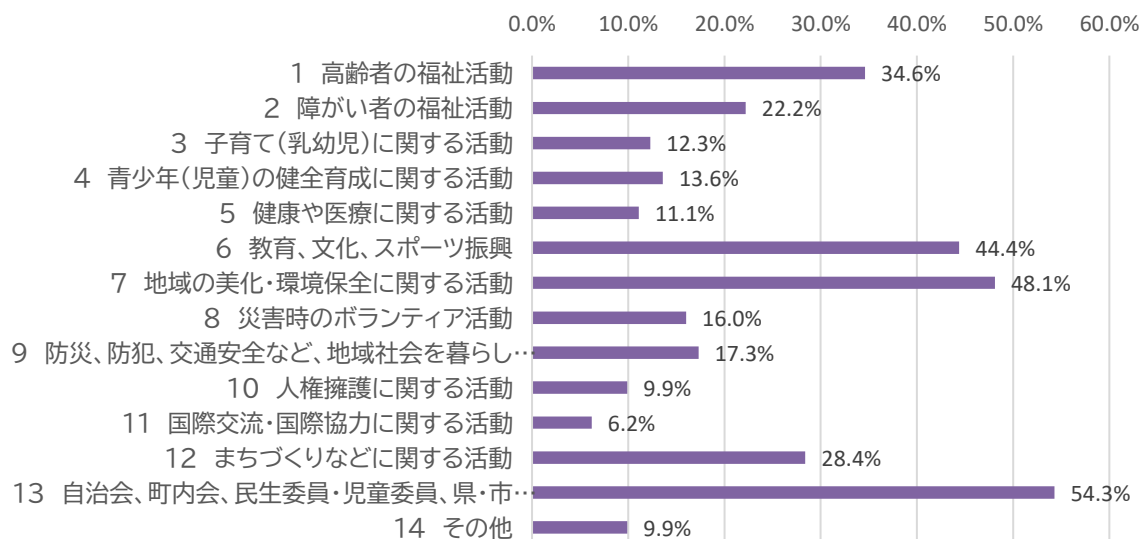
問4

問3で1を選択された方にお聞きします。

参加したボランティア活動の分野は何ですか。

あてはまるものを全て選んでください。（複数回答。比率は回答者実数に対するもの。）

	件数	比率
1 高齢者の福祉活動	28	34.6%
2 障がい者の福祉活動	18	22.2%
3 子育て(乳幼児)に関する活動	10	12.3%
4 青少年(児童)の健全育成に関する活動	11	13.6%
5 健康や医療に関する活動	9	11.1%
6 教育、文化、スポーツ振興	36	44.4%
7 地域の美化・環境保全に関する活動	39	48.1%
8 災害時のボランティア活動	13	16.0%
9 防災、防犯、交通安全など、地域社会を暮らしやすくするための活動	14	17.3%
10 人権擁護に関する活動	8	9.9%
11 国際交流・国際協力に関する活動	5	6.2%
12 まちづくりなどに関する活動	23	28.4%
13 自治会、町内会、民生委員・児童委員、県・市町村社会福祉協議会、子ども会等の活動	44	54.3%
14 その他	8	9.9%
回答者実数	81	



【調査結果】

自治会、町内会、民生委員・児童委員、県・市町村社会福祉協議会、子ども会等の活動が最も多く54.3%となり、次いで地域の美化・環境保全に関する活動が48.1%となった。

<14 その他の内容>

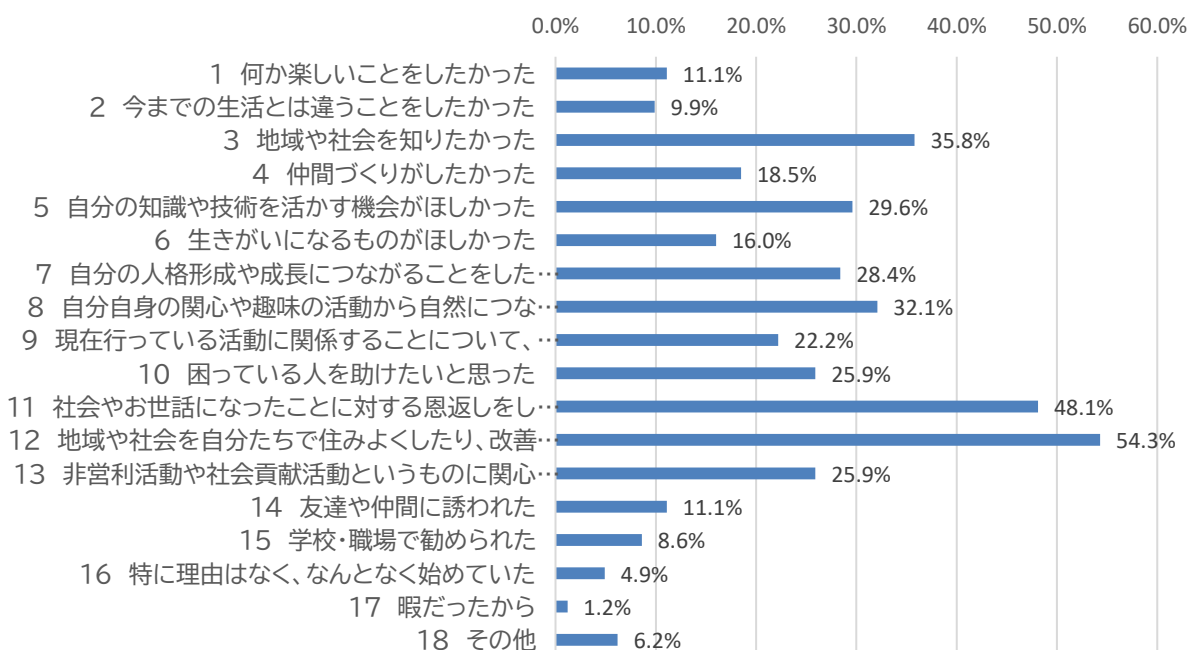
- 先人記念館のボランティア
- 奥州市世界遺産ガイドの会
- 電話相談
- サロン活動（運動）
- メンタルヘルス・アドバイザーの免許があるので、ボランティアとして相談・悩みなどを聞くことがあった。
- 小学校農業体験ボランティア
- 更生保護（保護司）
- ピアサポート

問5

ボランティア活動に参加した理由は何ですか。

あてはまるものを全て選んでください。（複数回答。比率は回答者実数に対するもの。）

	件数	比率
1 何か楽しいことをしたかった	9	11.1%
2 今までの生活とは違うことをしたかった	8	9.9%
3 地域や社会を知りたかった	29	35.8%
4 仲間づくりがしたかった	15	18.5%
5 自分の知識や技術を活かす機会がほしかった	24	29.6%
6 生きがいになるものがほしかった	13	16.0%
7 自分の人格形成や成長につながることをしたかった	23	28.4%
8 自分自身の関心や趣味の活動から自然につながった	26	32.1%
9 現在行っている活動に関係することについて、個人的な強い経験があった	18	22.2%
10 困っている人を助けたいと思った	21	25.9%
11 社会やお世話になったことに対する恩返しをしたかった	39	48.1%
12 地域や社会を自分たちで住みよくしたり、改善していく活動に関わりたかった	44	54.3%
13 非営利活動や社会貢献活動というものに関心があった	21	25.9%
14 友達や仲間に誘われた	9	11.1%
15 学校・職場で勧められた	7	8.6%
16 特に理由はなく、なんとなく始めていた	4	4.9%
17 暇だったから	1	1.2%
18 その他	5	6.2%
回答者実数	81	



【調査結果】

地域や社会を自分たちで住みよくしたり、改善していく活動に関わりたいという理由が54.3%、次いで、社会やお世話になったことに対する恩返しが48.1%となった。

<18 その他の内容>

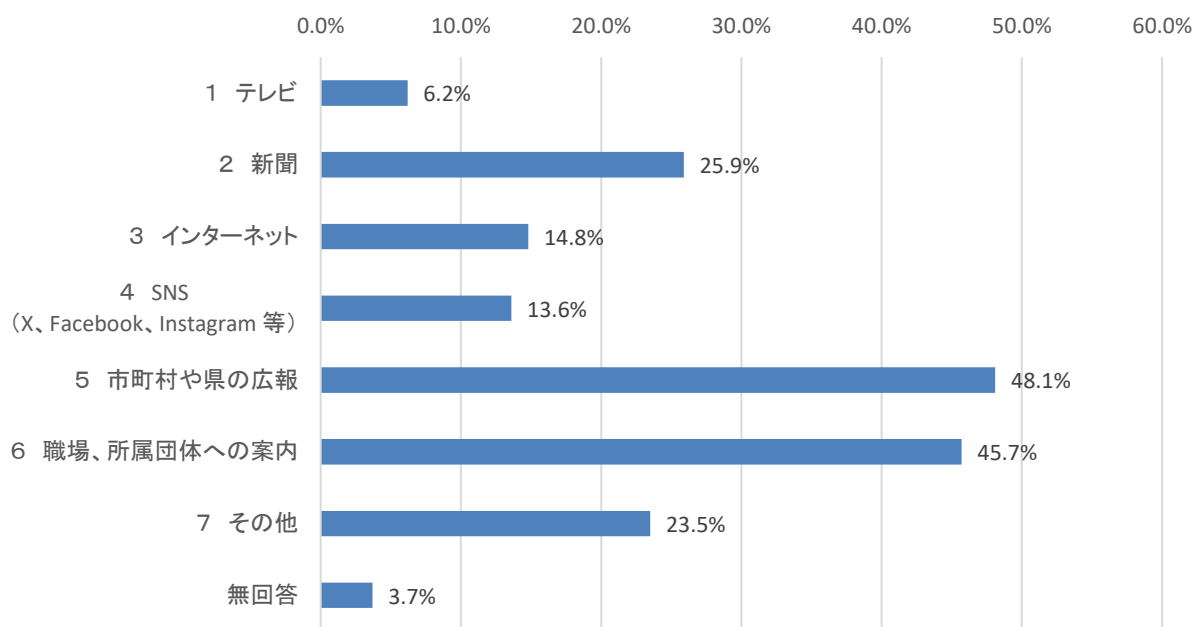
- せざるを得ない
- 町内会については強制的に回ってくる
- メンタルヘルス・アドバイザーという活動をしている人がいて、悩みを聞いてもらえる場所は意外と多いことを知ってほしかったから
- Dr. に助言を頂いたため。
- 障がいのある方々に寄り添いともだちになりたかった

問6

ボランティア活動の情報について知ったきっかけは何ですか。

あてはまるものを全て選んでください。（複数回答。比率は回答者実数に対するもの。）

	件数	比率
1 テレビ	5	6.2%
2 新聞	21	25.9%
3 インターネット	12	14.8%
4 SNS (X、Facebook、Instagram 等)	11	13.6%
5 市町村や県の広報	39	48.1%
6 職場、所属団体への案内	37	45.7%
7 その他	19	23.5%
無回答	3	3.7%
回答者実数	81	



【調査結果】

市町村や県の広報が48.1%、次いで、職場、所属団体への案内が45.7%となった。

< 7 その他の内容 >

- 養成講座の案内
- 高校を卒業して地域の青年会活動に入ったのがきっかけでいろんな分野に目がむき、興味をもち、色んな資格をとり、現在の82才でも若い時の経験が役にたっている。
- 地域、自治会から
- 自ら動いた（企画して）
- 知人からの勧誘
- 口コミ、知人からの勧誘・依頼
- ボランティアは前からやっていたので、自然と生活のなかにある。
- 福祉活動に興味があり、長年色々な活動をしています。
- 子供が通っている学校での活動、町内会の活動
- 自分の意思
- 福祉的な活動を直接見たり、聞いたりして、自分に合ったボランティア団体に直接交渉した。
- 前任者から頼まれたため。

問7

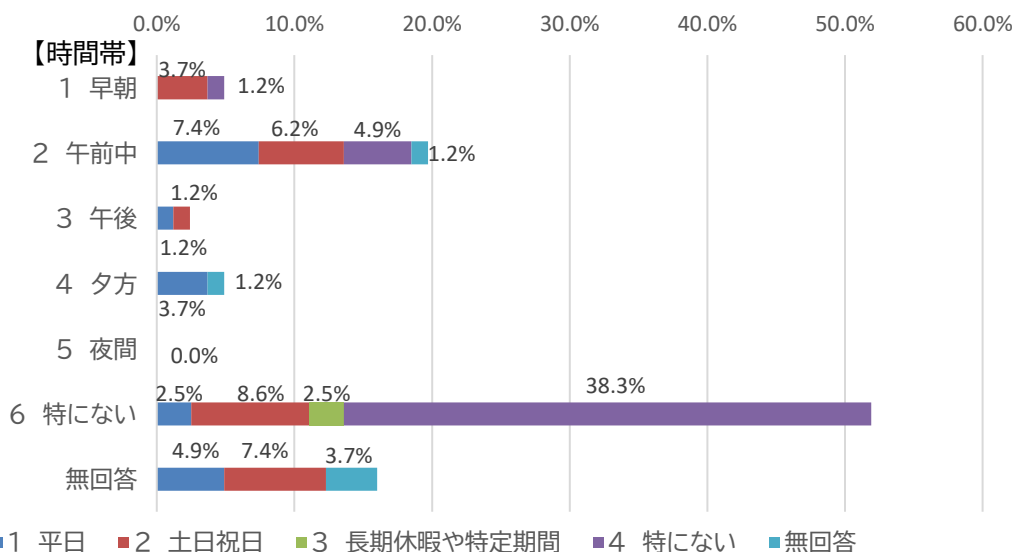
ボランティア活動をしている曜日、時間帯のパターンについてお聞きします。特にあてはまるもの1つ選んでください。

【曜日別】

	件数	比率
1 平日	16	19.8%
2 土日祝日	22	27.2%
3 長期休暇や特定期間	2	2.5%
4 特にない	36	44.4%
無回答	5	6.2%
計	81	

【時間帯別】

	件数	比率
1 早朝	4	4.9%
2 午前中	16	19.8%
3 午後	2	2.5%
4 夕方	4	4.9%
5 夜間	0	0.0%
6 特にない	42	51.9%
無回答	13	16.0%
計	81	



【調査結果】

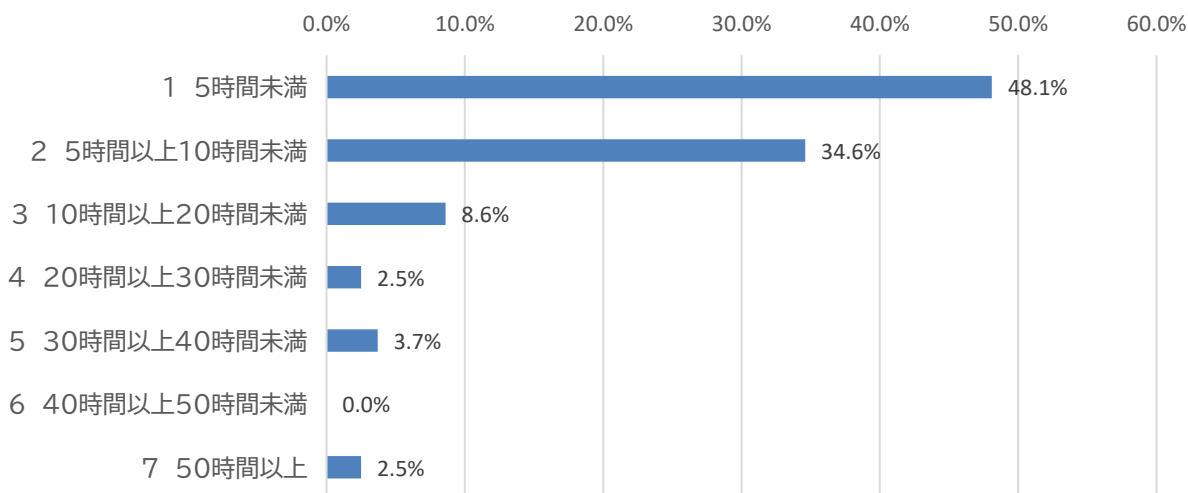
ボランティア活動をするパターンについて特に決めていないと回答した方の割合が38.3%と多くなった。曜日別にみると、土日祝日、時間帯別にみると、午前中に活動していると回答した方の割合が多くなっている。

問8

1か月に何時間くらいボランティア活動をしていますか。

あてはまるものを1つ選んでください。（実際に活動している時間や、活動のための打ち合わせの時間等ボランティア活動に関する全ての時間を含めた時間）

	件数	比率
1 5時間未満	39	48.1%
2 5時間以上10時間未満	28	34.6%
3 10時間以上20時間未満	7	8.6%
4 20時間以上30時間未満	2	2.5%
5 30時間以上40時間未満	3	3.7%
6 40時間以上50時間未満	0	0.0%
7 50時間以上	2	2.5%
計	81	



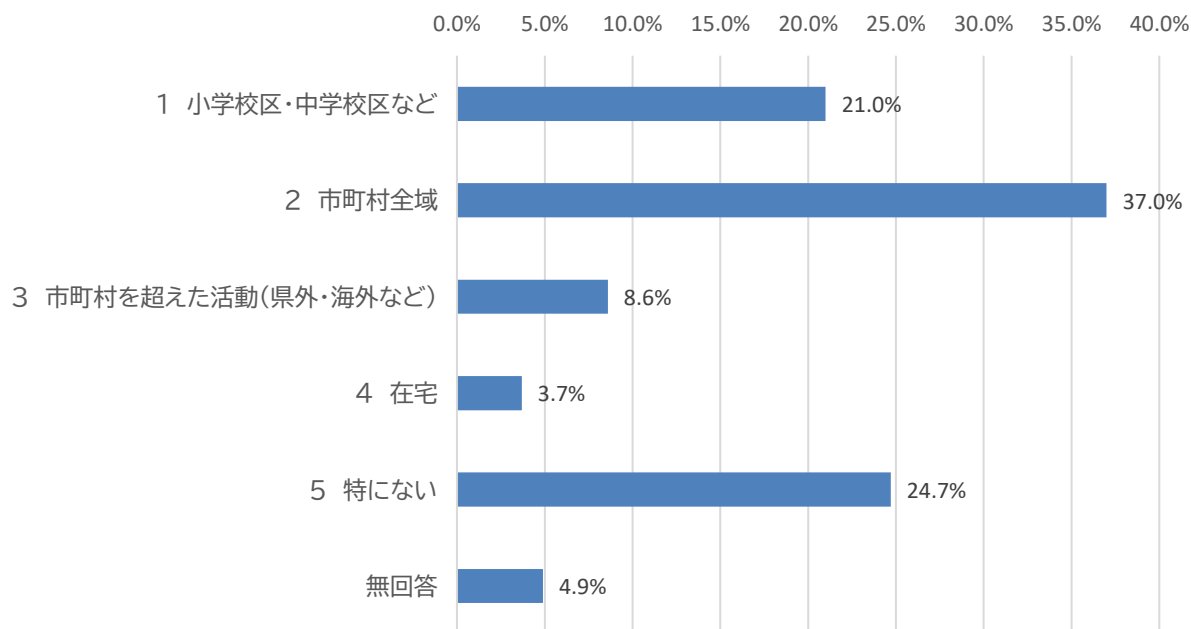
【調査結果】

5時間未満の割合は48.1%で一番多くなっており、次いで5時間以上10時間未満の割合が34.6%となっている。

問9

ボランティア活動を行っているエリアについて、特にあてはまるものを1つ選んでください。

	件数	比率
1 小学校区・中学校区など	17	21.0%
2 市町村全域	30	37.0%
3 市町村を超えた活動(県外・海外など)	7	8.6%
4 在宅	3	3.7%
5 特にない	20	24.7%
無回答	4	4.9%
計	81	



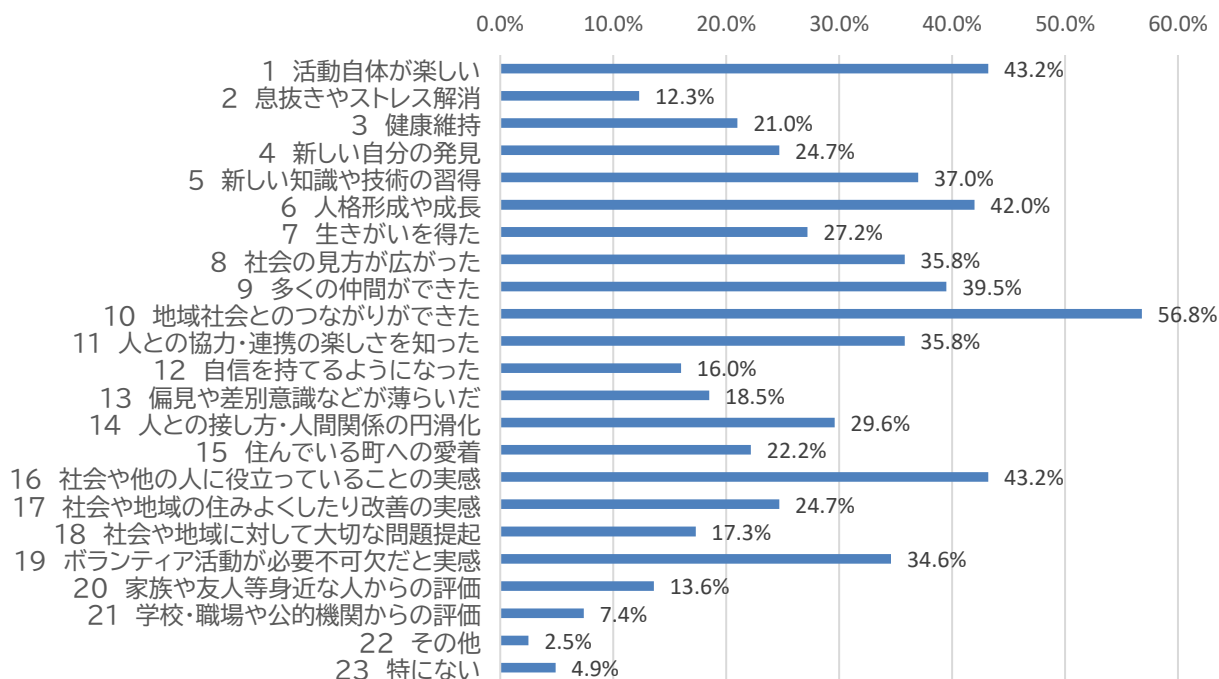
【調査結果】

市町村全域や、小学校区・中学校区など、生活圏の中で活動をしている方の割合が多くなっている。

問10

ボランティア活動を通じて得たことやしてよかったことは何ですか。
あてはまるものを全て選んでください。（複数回答。比率は回答者実数に対するもの。）

	件数	比率		件数	比率
1 活動自体が楽しい	35	43.2%	14 人との接し方・人間関係の円滑化	24	29.6%
2 息抜きやストレス解消	10	12.3%	15 住んでいる町への愛着	18	22.2%
3 健康維持	17	21.0%	16 社会や他の人に役立っていることの実感	35	43.2%
4 新しい自分の発見	20	24.7%	17 社会や地域の住みよくなり改善の実感	20	24.7%
5 新しい知識や技術の習得	30	37.0%	18 社会や地域に対して大切な問題提起	14	17.3%
6 人格形成や成長	34	42.0%	19 ボランティア活動が必要不可欠だと実感	28	34.6%
7 生きがいを得た	22	27.2%	20 家族や友人等身近な人からの評価	11	13.6%
8 社会の見方が広がった	29	35.8%	21 学校・職場や公的機関からの評価	6	7.4%
9 多くの仲間ができた	32	39.5%	22 その他	2	2.5%
10 地域社会とのつながりができた	46	56.8%	23 特にない	4	4.9%
11 人との協力・連携の楽しさを知った	29	35.8%	回答者実数	81	
12 自信を持てるようになった	13	16.0%			
13 偏見や差別意識などが薄らいだ	15	18.5%			



【調査結果】

地域社会とのつながりや仲間ができること、人との協力・連携など、つながりを実感している方の割合が多くなっている。

<22 その他の内容>

- 自分自身が自分の本当のキモチを見つめなおすきっかけにもなった気がする。

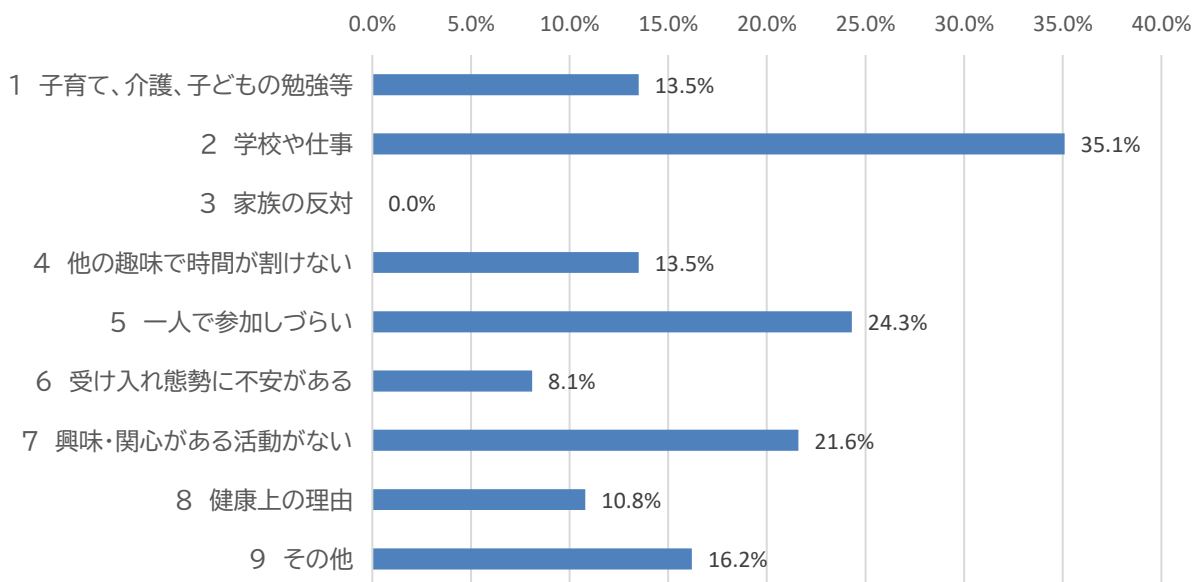
問11

問3で2を選択された方にお聞きします。

ボランティア活動に参加したことがない理由は何ですか。

あてはまるものを全て選んでください。（複数回答。比率は回答者実数に対するもの。）

	件数	比率
1 子育て、介護、子どもの勉強等	5	13.5%
2 学校や仕事	13	35.1%
3 家族の反対	0	0.0%
4 他の趣味で時間が割けない	5	13.5%
5 一人で参加しづらい	9	24.3%
6 受け入れ態勢に不安がある	3	8.1%
7 興味・関心がある活動がない	8	21.6%
8 健康上の理由	4	10.8%
9 その他	6	16.2%
回答者実数	37	



【調査結果】

学校や仕事、子育て、介護、子どもの勉強等で忙しいことにより活動に参加できない方の割合が48.6%となっている。また、ボランティア活動自体に興味・関心があっても、ニーズに合った活動がないため参加していない方の割合が21.6%となっている。

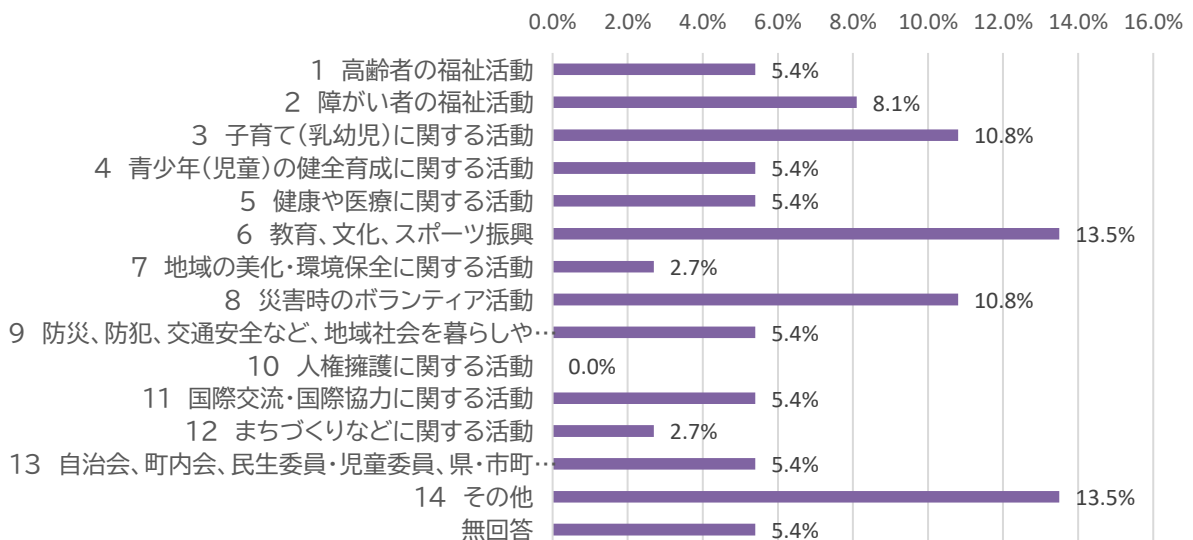
< 9 その他の内容 >

- ボランティアという概念自体に疑問があるが、地域に対する個人的なボランティア活動は十分に行っているため。
- 主人の仕事で転勤が多かったので、出来ませんでした。
- 自分で保護している猫たちの世話もあるので、都合の良い時だけ参加したり急に欠席となる様ではかえって迷惑をかけると思いボランティア活動への参加を躊躇します。
- NPO法人で福祉事業を行っている。仕事に追われているため。
- 家族の入院、介護等で余裕がなかった。
- 土日に仕事をしているので、ボランティアを必要とするイベントに参加できない。
- 情報が分からない。

問12

ボランティア活動として、特に、興味・関心がある分野は何ですか。
あてはまるものを1つ選んでください。（問3で2を選択された方のみ回答）

	件数	比率
1 高齢者の福祉活動	2	5.4%
2 障がい者の福祉活動	3	8.1%
3 子育て(乳幼児)に関する活動	4	10.8%
4 青少年(児童)の健全育成に関する活動	2	5.4%
5 健康や医療に関する活動	2	5.4%
6 教育、文化、スポーツ振興	5	13.5%
7 地域の美化・環境保全に関する活動	1	2.7%
8 災害時のボランティア活動	4	10.8%
9 防災、防犯、交通安全など、地域社会を暮らしやすくするための活動	2	5.4%
10 人権擁護に関する活動	0	0.0%
11 国際交流・国際協力に関する活動	2	5.4%
12 まちづくりなどに関する活動	1	2.7%
13 自治会、町内会、民生委員・児童委員、県・市町村社会福祉協議会、子ども会等の活動	2	5.4%
14 その他	5	13.5%
無回答	2	5.4%
計	37	



【調査結果】

教育、文化スポーツ振興、その他の活動が13.5%となり、次いで子育てに関する活動、災害時のボランティア活動が10.8%となった。

<14 その他の内容>

- 犬・猫等の保護活動に関わる
- こども食堂
- 農業支援のボランティア活動
- 作物づくり等を通しての交流活動

問13

ボランティア活動に参加しやすいと思う曜日、時間帯のパターンについてお聞きします。

特にあてはまるもの1つ選んでください。（問3で2を選択された方のみ回答）

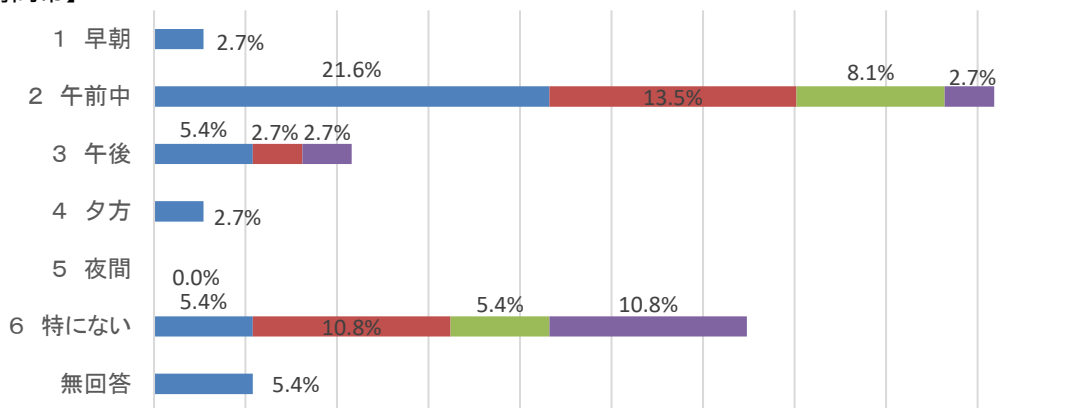
【曜日別】

	件数	比率
1 平日	16	43.2%
2 土日祝日	10	27.0%
3 長期休暇や特定期間	5	13.5%
4 特にない	6	16.2%
計	37	

【時間帯別】

	件数	比率
1 早朝	1	2.7%
2 午前中	17	45.9%
3 午後	4	10.8%
4 夕方	1	2.7%
5 夜間	0	0.0%
6 特にない	12	32.4%
無回答	2	5.4%
計	37	

【時間帯】 0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0% 40.0% 45.0% 50.0%



【曜日】

■ 1 平日 ■ 2 土日祝日 ■ 3 長期休暇や特定期間 ■ 4 特にない

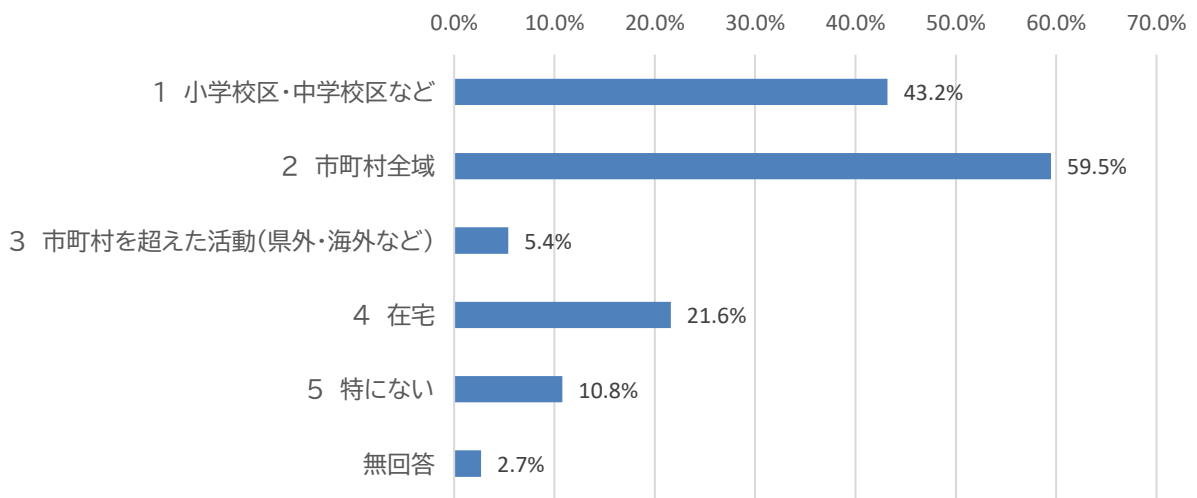
【調査結果】

平日の午前中だと参加しやすいという方の割合が最も多く、次いで土日祝日の午前中の割合が多くなった。

問14

ボランティア活動に参加をしてみたいエリアについて、あてはまるものを全て選んでください。（複数回答。比率は回答者実数に対するもの。）（問3で2を選択された方のみ回答）

	件数	比率
1 小学校区・中学校区など	16	43.2%
2 市町村全域	22	59.5%
3 市町村を超えた活動(県外・海外など)	2	5.4%
4 在宅	8	21.6%
5 特にない	4	10.8%
無回答	1	2.7%
回答者実数	37	



【調査結果】

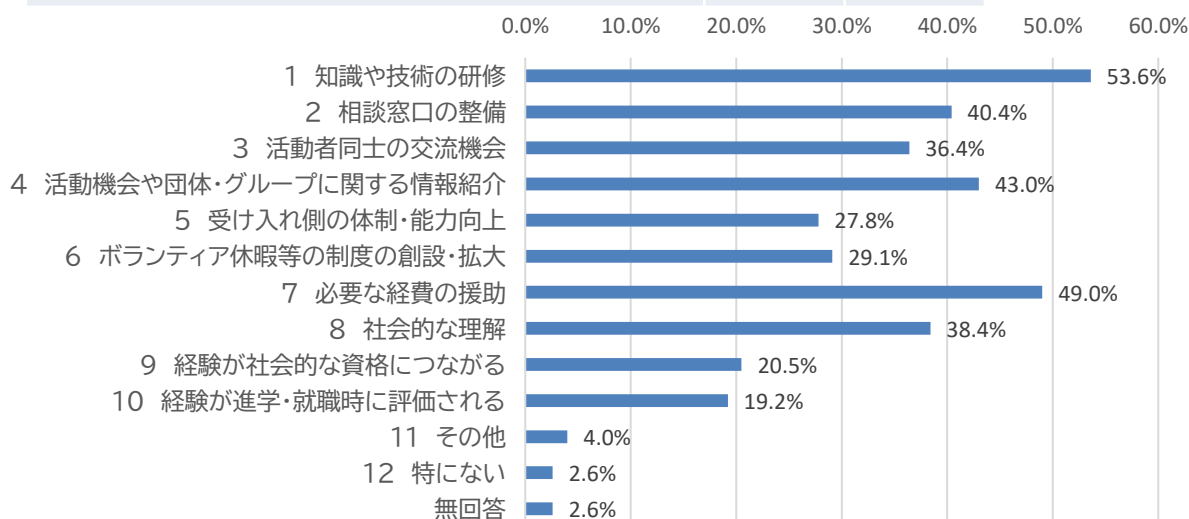
市町村全域や、小学校区・中学校区など、生活圏の中での活動に参加してみたい方の割合が多くなっている。

問15

充実したボランティア活動をしていくために、どのような社会的な支援や環境整備が必要だと思いますか。

あてはまるものを全て選んでください。（複数回答。比率は回答者実数に対するもの。）

	件数	比率
1 知識や技術の研修	81	53.6%
2 相談窓口の整備	61	40.4%
3 活動者同士の交流機会	55	36.4%
4 活動機会や団体・グループに関する情報紹介	65	43.0%
5 受け入れ側の体制・能力向上	42	27.8%
6 ボランティア休暇等の制度の創設・拡大	44	29.1%
7 必要な経費の援助	74	49.0%
8 社会的な理解	58	38.4%
9 経験が社会的な資格につながる	31	20.5%
10 経験が進学・就職時に評価される	29	19.2%
11 その他	6	4.0%
12 特にない	4	2.6%
無回答	4	2.6%
回答者実数	151	



【調査結果】

ボランティア活動に必要な知識や技術の研修機会が必要と回答した割合は53.6%となっており、次いで、活動に必要な経費の補助と回答した割合は49.0%となっている。

<11 その他の内容>

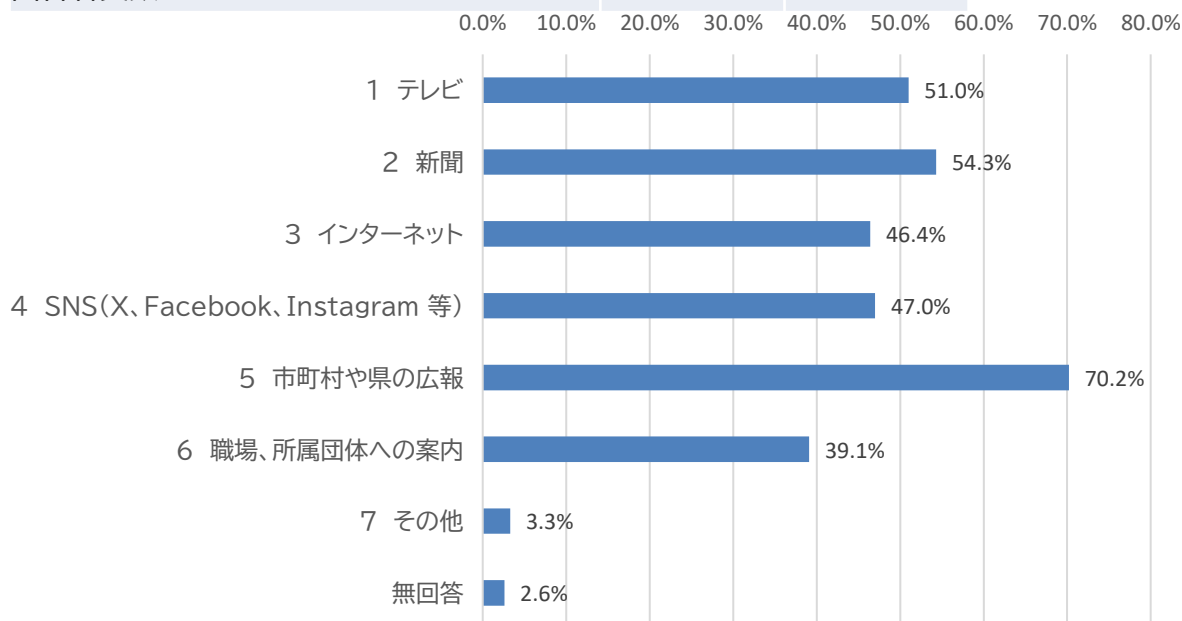
- 強制されない安心感
- ボランティアメンバーが活動を有意義に感じられるような運営側のスキルアップ
- ボランティア活動をしたいと思っても、きっかけがないとその一歩が踏み出せないのでは、その何か？
- 自分自身の精神的 経済的な余裕
- 小さな親切程度の事なら出来ると思う
- ボランティアという名目で経費をも個人負担させようとする時点で継続性があるやしない

問16

ボランティア活動の募集の仕方について、どのような方法が必要だと思いますか。

あてはまるものを全て選んでください。（複数回答。比率は回答者実数に対するもの。）

	件数	比率
1 テレビ	77	51.0%
2 新聞	82	54.3%
3 インターネット	70	46.4%
4 SNS(X、Facebook、Instagram 等)	71	47.0%
5 市町村や県の広報	106	70.2%
6 職場、所属団体への案内	59	39.1%
7 その他	5	3.3%
無回答	4	2.6%
回答者実数	151	



【調査結果】

市町村や県の広報と回答した割合が7割となったことから、行政からの情報発信について、引き続き工夫しながら取り組んでいく必要がある。

< 7 その他の内容 >

- 地域に密着した募集活動
- ラジオ

問17

今後参加してみたいボランティア活動がありましたら、御記入ください。（自由記載）

- 地域の活性化に関すること。さらには、その告知については難しいところではありますが、「知らなかった」ということがたくさんあるように思います。このあたりを工夫して多くの方に参加していただけるよう、私も参加するときには発信していきたいと思います。
- 現状維持で充分です。
- 私自身、各地域の歴史や郷土芸能に興味があります。それらは先人から現在に至るまで伝えられてきた地域の無形財産ですので、それらが風化しないよう将来に伝承するため、調査して記録編纂するボランティアに取り組んでみたいです。
- 情報があれば、なんでもやってみたいです。
- 学生の頃から、ボランティア活動を経験して欲しいです。
- 街の美化
- 読み聞かせをやりたい。
- これからの課題として、中学生の部活の地域展開が言われています。運動や文化活動以外のものも含めて、これらの世代と共有するボランティア活動をしたいと思っています。まずはベースとなるものが何になるのかを、考えています。
- 欲張らず、今のままと長く続けていきたい。
- 2年ぐらい今年の1月に亡くなった母の介護をしていたので困っていたら助けてあげたいと思います。又、小さいお子さんがいる方は、話しかけてお話ししたいと思う時があります。お子さん、お母さんに…。自分が子育てでなれたとおもったら転勤とてもつらい思いした事もありましたので、若い方、お年寄り親切にしたいと思います。
- 時々、動物譲渡会に寄付したり、フードを届けています。不要となった毛布やタオル等を保護動物の寝床にしたり掃除に使うと知り、届ける様にしています。ゴミ分別やポイ捨てしない事が環境保全につながったり、子供の登下校時間帯に外に目を向けたり、外作業している事で防犯に役立つと思っています。直接ボランティアに参加できなくても、こんな形で協力できるという事をどんどん紹介してほしいと思います。
- 今、60第の主婦です。30年前までは転勤族で落ちついた頃に引越すという生活でした。その地域ごとの地域感みたいなところがあって、なじむまでが大変でしたが、地域の方から声をかけられ、保育所の保育補助を数年経験しました。ボランティアではありませんが、この経験から人と接する楽しさと、むずかしさ等を教えられました。
小さな事でも、困っているのではと思うと、声をかけられるよう様になりました。年齢的にも体力を使うことは無理かなって思いますが、気持ちは持ち続けたいと思っています。
- 障がい者のランチバイキングの会、コンサート、ボウリング等活動時のボランティア
- 子どもたちの楽しい居場所への支援

問17

今後参加してみたいボランティア活動がありましたら、御記入ください。（自由記載）

● 災害に関する支援活動

私は、一関市の防災指導員をしまして、今後も防災に関する提案や支援活動行っていきたいと思っています。

今年度は、私が4年間手掛けてきた防災倉庫を地元の自治会に設置することが出来ました。これは、宝くじ事業補助金制度を活用させていただいたものでした。岩手県にも外国の方の人口増加があり、文化や思想などの違いで防災に対しての認識に違うものがあるように思います。

今後は、一関をはじめ県に防災の重要性を発信し安全安心なまちづくりを提案していきたいと思っています。

● 現在、地域でサロンのボランティアを中心にやっていますが、身近なところで気軽にできることがいいなと思っています。

● 仕事をやめて時間がとれる時に考えていきたい。現在は仕事だけでいっぱいなので・・・

● 必要なボランティア活動があれば何でも。あとはタイミングだと思います。

● 子育ての経験が活かせるもの、不登校の児童生徒や保護者への傾聴など

● 地域奉公活動

● 元気。笑い大会

● 地域の美化（花植え）活動や植林事業など。

● 参加してみたいというのではなく案として！

市町村内の公共施設で草木や花を植えているが、手入れができていないところも多々見受けられる。残念に思っている。業者にばかり頼らず、タイミーを活用、一般市町村民の時間と手を活用し、手入れの行き届いた街づくりが出来と思う。

● 災害支援に行くことは年齢的に厳しくなっているの、地域に関わる活動に参加したいと思うが、地域の高齢化のみでなく、若者の減少で後継者がいなくなるのが不安です。

● 少し前に新聞で“自殺防止のいのちのデンワ” ボランティアを知りましたが、それまで全く知らなかったの、もっと早くに知っていたら、自分のスケジュールを整えて参加したかったのにな・・・と残念に感じました。もっとどんどんボランティアの種類とか、内容、どのくらいの時間が必要なのかなど、お知らせ（広報）してほしいと思います。参加したくてもどこで、どんなのがあって、どんな手続きが必要か不明です。とても、もったいないことだと思いますヨ！！一覽にした記載をのせても良いのでは？（県内の、盛岡市の、別々に知りたい）

● こども食堂

● 聴覚障害者を対象としたボランティアをしています。児童や青少年を対象としたボランティアもしてみたい。

● 特にこれと言う具体的なものは無いですが、仕事の休日などで隙間時間に出来るものがあれば、現在行っている保護司とやってみたい気はあります。仕事現役世代だとなかなか難しいのは現実です。

ただ退職してからでの活動ではなく、現役の頃から何かかわりを持っていると、着手しやすいと思う。

問17

今後参加してみたいボランティア活動がありましたら、御記入ください。（自由記載）

- 無償のボランティアはあまりしたくない。ボランティアの人を上手く利用して、主催者などが利益を得ているイメージがあるので。
- 私は20年近くボランティア活動をしてきましたが、最近体力的理由から引退しました。調査内容には過去の活動についてや、現在また今度について問うものがあります。したがって私の場合は現在の活動についてお答えできませんが、アンケートの主旨は県民のボランティアに関する意識から活動推進の課題を探り、人材の育成なので、私が活動していた時についてが参考になると考えて回答しました。ボランティア活動は曜日や時間をずらして複数の活動をされている方が沢山おり私もそうでした。そんな方は問12について一つを選ぶのには困りました。
- 本来ボランティア活動は『自発的に活動した結果が社会のため他人様の役に立つものであって、その行為への報酬や見返りを求めない』ものです。最近是有償ボランティアとか食事や宿泊を提供するものなどがあります。これは募集しやすくボランティア活動する方も活動しやすいので大規模な災害時などには適しています。やむを得ない社会的変化なのかも知れません。
しかし最近では社会的や福祉的な軽度の仕事は、報酬を支払うべき内容でありながら予算や人材の不足からボランティア活動とカモフラージュしている募集を見かけます。募集する側もボランティア活動する方も、ボランティアの本来の理念を正しく理解する必要があります。有償ボランティアは本来のボランティアの理念から逸脱しており、有償支援活動などの呼称として区別するのも一案と思います。
- 『何か社会や誰かのお役に立つボランティア活動をやってみたい』と思っている方が多くおります。しかし自分に何ができるのかとか、活動団体に入る勇気がないなど一歩前に踏み出せない方が多くおります。
そんな方には各種のボランティア活動を紹介して、自分に合ったものを探してもらうのが良いと思います。
- 一人で行く勇気がない方もおりますので、講習会などで気の合う仲間をつくるのもよいです。
- 活動をしてみて自分に合わなかったら別の分野の活動を体験して、内容や対人関係、活動地域や時間などで気に入ったものを探すことです。自分に合った活動であれば喜びを得たり、仲間ができてやりがいを感じるものです。
その活動で更に深く知識や技術を会得すれば、それを幅広く活かそうと関連した他のボランティアにも参加しようとする意欲が湧いてきます。
- 自分のプライベートなことを深く聞かれるのを嫌がる方がおります。活動内容にもよりますが、名前程度の紹介で済ませるのが良いと思います。

問17

今後参加してみたいボランティア活動がありましたら、御記入ください。（自由記載）

- “社会の誰かの役に立ちたい”という目的以外に、“就職に有利だから”とか“更生のための社会奉仕”、また“「社会との交わりをするように」という医師の指導によるひきこもりの方”などいろんな目的で活動する方がおります。コーディネーターはその方々に寄り添った対応が必要と思います。
- 私は無事に定年退職を出来たのは皆さまのお陰と思い、感謝と恩返しの気持ちでボランティアを始めました。最近ミュージアムの開設ボランティアでした。来館された方に説明をするのですが、多くの方は聞き入るだけで反応がありませんでした。自分の勉強にはなりましたが物足りなさを覚えました。そんな時に病院ボランティアを知り早速出向きました。基本的な心構えや方法を習得してから病院内で患者様が快適に過ごせるようにする活動です。案内や介助、快適な環境づくりの飾り付け等々、一つ一つが患者様と心と心のキャッチボールになるものでした。感動とやり甲斐を感じ、自分が求めていたボランティア活動を見つけ水を得た魚の思いでした。患者様は病気だけでなく高齢者また認知機能や知的障がい者の方が多くおりました。この方々と接したことで社会的弱者に関心を抱き、知的障がい者施設利用者の相談や高齢者ディサービスで話し相手やゲームをしたり、某町内会の居場所運営などで活動しました。同時に複数のボランティア活動をする時もありました。この中で有償ボランティアや職員がやるべき軽度の作業をボランティアに任せている所がありました。この活動は私の抱くボランティア活動の理念に沿わなかったので短期間で辞退しました。高齢になったので組織での活動は辞めてしまいました。現在は単独で近所の高齢者の話し相手になったり、相談や簡単な作業のお手伝いをさせて頂いています。
ボランティア育成の参考にして頂ければ幸いです。
- 公共交通機関が無くなったり、減便等で外出が不便になった地域に居住する高齢者外出時の送迎等車の運転や付き添いなど。
- スポーツフェスライバル、まつり、障がい施設でのイベント、病院のイベント、音楽イベント、花や草について除草ボランティア、ゴミ集め、コンサート、SNS発信、老年者とのふれ合いefe.盛岡市にも困っている人が多いので、どんどん参加して、いきいきした町づくりにしたいです。
- 体をつかうボランティア活動やスポーツに関する活動をやってみたいです。
- 平泉ウォークなど、来町する方々が多いイベントが何件か町内で開かれますが、私の知っている範囲でご案内のお手伝いがあれば、参加してみたいです。
- 以前、災害ボランティアに参加したことがあるが、機会があったら、また参加してみたい
- 身体障がい者や車椅子でもごみ拾いができるイベントがあったら参加したい
- 特にこれと思い当たるボランティア活動はありませんが、協力出来る事は今後もやっていきたいと考えています。
- 国際交流

問17

今後参加してみたいボランティア活動がありましたら、御記入ください。（自由記載）

- 慈善団体の不祥事が多くて、心配。募金活動したものの着服など。何のための活動か、何に役立ってるのか、善意につけこまれ騙されていないか、不信感が募る。中学生にも、ボランティアのはずなのに、土日に街角募金のボランティア強制（休めない）の要請が来る。何のための活動かわからずに、かりだされる。ボランティアって何だろう？
- 5年以内の活動と言うことで記入しましたが、現在は腰痛のため、4年前からボランティアは参加していません。また、1年半前に転居したため、前住居地の活動とは疎遠になっておりますので、今回の回答と現在の状況とは、やや齟齬があると思います。
- 海外の方とふれあえる活動
- 未来の街づくりに関する諮問機関での活動
- 小さい子の子育て中は何かと周囲の援助が必要ですが、助けてもらえる身内などがいない場合は大変苦労していることでしょう。
私自身、孫が産まれてから母親の通院や買物等で頼られる事が多いため、赤ちゃんや幼児を少しの間見てほしいとか買物をしてきてほしい等、子育ての支援に関われるボランティアがあれば良いと思います。
- ヘラルボニーと関わりのある活動
- 現在参加しているボランティア活動が岩手では知名度がなく、仲間を増やそうと思ってもなかなかうまくいきません。（全国で90人弱で活動しています）
行政のお墨付きがあれば、参加者が多くなり、世の中のお役に立てるような気がします。知名度がないと行政でも門前払いされるので、活動を広げるのも難しいと感じています。（設問と違う内容ですみません）
- ボランティアを希望しても、年齢的、自分の（現在）の仕事を放り出してまでできない。生活があるため。
- 子育て支援や環境保全に関すること
- 児童養護施設での子どもの心のケア
- 以前コロナ前の事です、盛岡市卸売市場の市場まつりにボランティアで参加した事があります。空き時間に買い物したり、マグロの解体ショーみたりとボランティアしながら楽しめました。そういった事があればいいなと思います。
- 障がい者団体が行っている街の点検
- 個人的にやっていたゴミ拾いがやりづらくなった。用事等が済んだ帰りにマイトングマイゴミ袋持参で拾い駅のゴミ箱に分別して入れていたがそれも家庭ゴミになるのかと悩みやめている。今は家にもって帰れる時だけやっている。日々の中で個人でもやれることがあればと思う。
- 療養者ですが、病気とどう向き合うかなどの相談を受ける活動を（在宅ですが）積極的にしてみたいです。
- 恵まれない子供援助
- 新しいまちづくり 人口減少で、老人の町となりつつある現在、どう暮らしやすい町づくりを考えて行ったら、住みやすく生ききる町になるのか、予算が無いと二言目には言うけれど、知恵を絞れば道は開けるはず！